

たまりば

2023年度 秋号

Communication
通信 

◆ 発行日 2023年10月 ◆ 発行 認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

〒211-0044 川崎市中原区新城 2-4-1
セシーズイシイ2 401号室
TEL 044-789-9812

<https://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

待ってました!八丈島合宿



7月30日(日)~8月4日(金)の5泊6日、八丈島へ夏合宿に行ってきました!4年ぶりの八丈島での夏合宿。夏が近づくとたびに八丈経験者たちが「八丈いいよ〜」「楽しいよ〜」と思い出を語り始める中、私たちはいつ行けるんだ!?!と待ちわびていた合宿がついに開催されました。50人を超えた今年の合宿参加者の中で、スタッフも含めて八丈島に行ったことがある人は10人程度。私自身も初のテント泊、初の5泊。なんとかなるのか?ならないのか?参加者みんなが何となくソワソワしていた合宿前でしたが、行ってしまえばあつという間。無事にみんなで帰ってくる事ができました。各地で無事を祈ってくれた皆様、ありがとうございました。

海での飛び込みや生き物探し、釣り、私が捻挫した山登り、牧場、温泉などなどの定番の遊びを満喫しつつ、毎日の食事当番や朝ごはんプロジェクト、薪割りなど、みんなで5泊6日を過ごすために、それぞれが出来ることを持ち寄って過ごしていきました。「そんなに力持ちだったの!?!」と驚くほどの働きぶりな人がいたり、「そこが仲良くなるんだ〜」とほっこりする楽しそうな人たちがいたり…みんなのいつ

もと少し違う一面が見られる機会がたくさんありました。いつも通りのケンカも、八丈島のでっかい自然の中ではなんだか薄まるような気が…。

また、久しぶりの八丈島ということで、八丈島にいる仲間たちが続々とキャンプ場まで会いに来てくれました。これまでお名前だけ伺っていた方達にお会いできて、私も嬉しかったです。たくさんの差し入れもありがとうございました!お世話になりました。

さて、家に帰るまでが遠足、テント干しをするまでが八丈島合宿。帰ってきた次の日、8月5日(土)はテント干しをしました。お世話になったテントを干したりペグを拭いたり、合宿に持っていった道具の整備をして、本当の本当に合宿が終了です。みんなよく頑張りました!

海がとても楽しかったこと、テントが暑過ぎて寝られなかったこと、いくつかのトラブルにびっくりしたり辛い気持ちになったりしたこと、夜にキャンプサイトで星を眺めた時間が心地よかったこと、家に帰ったら口内炎が4つできていたこと……。「楽しかった!最高!」だけでなく、楽しいこともキツイことも、色々あった合宿。非日常のようでいて、「何でもない普段の一日」の延長線につながっている。これからも色々な時間、色々な気持ちを味わいながら、ここに居たい人が安心して一緒に居られるように、えんでの日常を大切に過ごしていこうと感じた合宿になりました。(はるひ)



認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば
って…?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

ROCK'N HOT! 夏の日

8月27日(日)、夢パークのスタジオを利用している近隣の中高生たちで、ステージ設営から音響まで自分たちで



つくりあげるライブ「KUJI ROCK」を開催しました！今回は総勢40人、ソロを含めて8バンドの出演がありました。前日の準備では、午後集まり、みんなでスピーカーや教壇をごろりに運び、暗幕をつけたり機材をセッティングしたりした後、やれるバンドから音出しとリハを行いました。当日は午前中からリハをやり、出演バンド名を貼り出したり、ギターを抱えてプレーパークを練り歩き、お客の呼び込みをしたりして、いざライブスタート！中高生たちの初々しくもパワフルな演奏にごろりは大盛り上がり！なんと今回は、スタッフバンドも1曲だけ出させてもらいました。夏の終わりを飾る、暑い1日となりました。(もぐ)

「独りじゃないよ」相談 CAFE

えんくるでは、月に1~2回、相談CAFÉを開催しています。パントリーや食堂を運営する中で、食を求めて来所される方々から、様々な困りごとを伺う機会が増えてきました。立ち話でお話を聴くことはできても、もう少し丁寧に相談を受ける場が必要と考えて、2022年度からWAMの助成金を得て本格的にスタートしました。当初、グループ相談を想定していましたが、寄せられるお1人お1人の困りごとが、複雑かつ複合的な内容だと受け止めマンツーマンの相談にシフトしていきました。今年度からは福祉たすけあい基金(生き生き市民基金)も活用させていただいています。相談内容は様々です。生活のこと、家族のこと、自身の健康状態、人間



関係など…1人の方が2重3重に抱えていることも。地域の中でコーヒー片手に安心して相談してもらい、必要であれば各関係機関との橋渡しや、同行支援なども行っています。ペアやグループでも話せます。「独りじゃないよ」が伝わりますように！(菊地)

夢パが20歳になりました～!

去る7月23日(日)、この日は夢パークの20歳の誕生日！そこで、「ゆめぱおたんじょう日まつり」と題し、みんなで一緒に夢パをお祝いしました。

当日は実行委員会を中心に、みんなで工夫した催しがたくさん！全天候型スポーツひろばでは、あの”ねこのピート”を翻訳したミュージシャンでマジシャンで翻訳家でもある大友剛さんをお招きし、会場の誰もが楽しめるマジックや演奏や絵本の読み聞かせが行われました。マジックが成功するたびに、「え～、なんで!？」や「ワッハッハ」と楽しそうな声。演奏や絵本の読み聞かせも、知っている子どもたちは一緒に歌ったり読んだりしていました。

創作スペースでは、えんのお兄さんお姉さんたちが作る焼きそばや、えんの保護者の方々が作るカレーライス、その他にもかき氷や飲み物、アイスなど、おいしくて楽しい模擬店がズラリと並びました。2階の多目的ホールでは、支援委員会のメンバーを中心に開催した、「これまでの夢パの歩み」の展示やカフェに多くの方が訪れてくれました！もちろん、夢パならではの水遊び・泥遊びもみんな思い切り満喫。

最後は夢パに来たみんなでハッピーバースデーを歌いました♪身も心もお腹いっぱい、とっても楽しい誕生会になりました。(しもん)



「たまりば事務所」移転しました

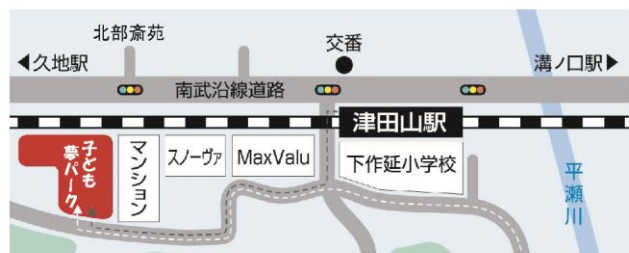
6畳4畳半からスタートした「たまりば」は、夢パーク・フリースペースえん、川崎若者就労・生活自立支援センターブリュッケ、コミュニティスペースえんくると活動拠点が増え、「よつばの会」「ふれあい心の友」「かなこん」など、市や県とさまざまな事業を行なっています。そんな中で、新たに一部屋借りて事務局体制の再整備を行なうことにしました。今後、住所・連絡先は上記になりますので、法人へのお問い合わせなどは、コチラをお願いします。(ダイスケ)

新しい住所：川崎市中原区新城2-4-1
セシーズイシイ2 401号室
電話番号：044-789-9812

指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケだより



～屋台に初挑戦！～

武蔵新城で4年ぶりの夏祭りが開催されました。

ご近所の昼屋さんから声を掛けていただき、今年はなんとブリュッケの若者たちも屋台に初挑戦！話し合いと試作を重ね、

唐揚げ、ポテトフライ、揚げ餃子、枝豆というラインナップで挑んだところ…。隣の酒屋さんとの自然なコラボが実現し、思わぬ大盛況の2日間となりました。厨房でひたすら揚げ続けた調理組。店先で声を張り上げ続けた販売組。思わぬ売れ行きに急遽の買い物に走ったり、ヘルプで呼び出されて駆けつけた若者もありました。1日目の夜の作戦会議が活かされて、2日目はあっという間の完売。ささやかな打ち上げの後で、町のゴミ拾いに出掛けて行く若者たちの表情はなんと遅く、眩しくらいに輝いていました。売り上げを貯めて、いつかみんなでディズニーランドへ行く！新たな目標も出来たようです。

すでに来年が待ち遠しいという声も。彼らの居場所は、ブリュッケの中から地域へと広がりつつあります。(三瓶)



HAPPY 夏祭日

★最近えんでは、バスケブームが到来！小学生からお兄さんたちまで全天候でバスケをしています。小学生たちはルールなんて関係ない！楽しく大笑いしながらリングに向かってボールを投げ込む姿は力強くエネルギーいっぱい！中にはマイボールで自主練をする子達も！お兄さん達はアマチュア大会出場をめざしてメンバーを集め和気藹々練習中！個人的にバスケが好きなノスケはワクワクが止まりません！（のすけ）

★夏の風物詩といえば誰が何と言おうと枝豆！その中でも王様と名高い「だだちゃ豆」がもう最高なんです。そんなだだちゃ豆を今年も、長いお付き合いの「おからや」さんより送っていただき、おこわやガレット具材にして食べました。食わず嫌いで食べたことがなかった子もあまりのおいしさにおかわり！ごちそうさまでした！（山形出身・池ちゃん）

★藍染めしよー！と、子どもたちから誘われる今日この頃。今の流行りは、籠染め（かごぞめ）です。2つのカゴの間にTシャツやハンカチを渦巻き模様に詰め込んで藍染めすると、皺になった部分が白くなり、めっちゃくちゃかわいい。折り畳んだ布を板で挟み込む板締め絞りにチャレンジする子もいて、えんの藍染め、レベルが上がっています！（たかこ）



江戸から明治へと時代が変わり、明治政府が最初に手がけたのが「富国強兵」政策。不平等な条約を撤廃させるには、強い軍隊を持たなければならない。そのために「学校」をつくり、6歳以上の国民に教育を与えることになる。同時期につくられたのが「徴兵令」。20歳になったら男子は兵役の義務を負う。この強い軍隊を支えるための教育の必要が、学校の始まりだった。「右向け、右」という号令がかかったら、右を向ける子どもをつくり出す必要があった。あれから150年。社会は目まぐるしく変わり、人類は月に着陸して石を持ち帰ったり、スマホを発明し、リアルタイムに地球の反対側に住む人々とも、顔を見ながら通話ができる時代になった。劇的に社会は変化し続けているのに、なぜかこの学校教育のシステムだけは、基本的に変わらないまま続けられてきた。なんのために学ぶのか。社会のニーズが大きく変化しているのに、学ぶ目的が見えなくなっている。さらにいうと、どうして同じ年の子どもが、同じ教科書を使って、同じ内容を全国一斉に学ばされ、テストで比べられなければならないのか。国のお役人にたずねると、日本という国は教育にお金が付かなすぎる国なので、安いお金で国民を一定の水準に教育するには最も経済効率がいいシステムなのだという答えが返ってきた。「経済効率」のために上から施される教育。かつて農民は農業にまつわる知識を手に入れ、経験を積み、近隣の人々と協力しながら生きてきた。〇〇王朝の都がどこにあるかなんて知らなくても、幸せに生きてこられた。いま選別と競争のための教育から、人々はどんどん離れようとしている。人が幸せになるための学びはどんなものなのか。自然と共存しながら、この地球で生きるために必要な学びとはどういうものなのか。どこで学ぶかではなく、何を学ぶかが問われている。人はいつからでも学ぶことはできる。一人ひとりの個性とニーズに合った多様な学びの選択肢を獲得できるように、教育の在り方を変えたい。本気で学校も変えたい。全国各地で呼ばれる講演会でこんな話をしているが、人々の反応がとて素晴らしい。首長や教育委員会の人がいるところで話しても、同様の反応が返ってくる。今こそ、子どもの声を聴き、みんなが対話を重ねながら、幸せになるための学びについて議論を深め、アクションをおこしていきたいと思う。(西野博之)



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

たまりばホームページ <https://www.tamariba.org>

※イベント・企画の実施等の詳細は
ホームページでご確認をお願いします※

夢パーク こどもゆめ横丁

11月5日(日)11:00~15:00

夢パークの広場に子どもたちが考えた“街”が出現！お店も商品も全部手作り♪この“街”は子どもたちが主役です。今年もコロナ対策をしっかりとしながら、みんなの「やりたい」の実現をめざします。

※(当日は、夢パークは 18:00 閉所です。

6日(月)臨時施設点検日のため夢パーク全体がお休みです

7日(火)「えん」はこどもゆめ横丁の代休です

★イベント出店(展示)★

★雑居まつり 10月8日(日)10:00~16:00

世田谷区・羽根木公園にて。今年はヤキトリ販売、展示、バザーで参加の予定です。

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第5回 12月16日(土) 10:00~12:00

第6回 2024年2月17日(土) 10:00~12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
参加費 500円 <要予約・先着15人まで>
申込み 第5回 11月1日、第6回 2024年1月10日
ともに12:30から受付開始

※申込みの際は詳細をホームページでご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます (2023.6.10~2023.9.1)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載していません。)

なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。

中村公一・勇、宮崎芳正、山本哲也・将也、内田成信、内田安信、野口由美子、朝香宏宣、小原宏一・輝子、佐藤奈緒子、五十嵐章夫、手柴充博、本田正男、鈴木みしお、朱田貴美、吉村友紀子、山下晴子、堀池雄司、橋本峻、山田恵理子、平野知恵、遠山宗子、竹内昭太郎、清水善幸、小山武史、橋本誠一・碧、飯沼光津子、木崎志保、浅井輝也、奥田礼子、コンペイトウ、田老幸子、安西卷子、新井野誠、赤野一将・香織、森田泰恵、野田岳志、山口正芳、イロオイアヤカ、安田靖子、今村久美、新居千文、新井琴乃、石戸ナナ子、白石つや子、高田裕子、梅田浩二、木内英紀、平井康大、松浦えりか、佐藤研二、坪滝治郎、小田切夢仁、佐々木直人、高岡ひとみ、高部貴子、上田春美、マリク・サドルディン、池田博毅、横山晋平、中村敬、岩出孝洋、森田貴司、森口幸信、岡田孝子、山下泰司、野村浩子、岡野匡、玉川理美、芹田詩織、友兼清治・悦子、中川裕子、山下美智代、愛甲香織、池原景太、西野博之、三瓶三絵、茂木潤、鈴木晶子、榎戸貴子、川崎橋ライオンズクラブ、下作延第一町内会

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562



コミュニティスペースえんくる

公式 LINE



えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル1階 TEL: 044-813-5248